

10:30~10:40	開会ご挨拶 吉田 眞 日本クラウドセキュリティアライアンス会長 東京大学名誉教授
10:40~11:20	 <p>CSA本部講演 Jim Reavis CEO, Cloud Security Alliance 「Securing Sovereign and Global Clouds」 In this presentation, Cloud Security Alliance CEO Jim Reavis discusses the trends seeking to address data sovereignty within both global and locally-focused cloud service providers. He will discuss the challenges and benefits of each and discuss the emerging trends that must be addressed to provide optimal security for both options.</p>
11:20~12:00	 <p>基調講演 瀧澤与一 アマゾン ウェブサービス ジャパン 合同会社 パブリックセクター技術統括本部長 「AWS活用の最新動向」 2006年からクラウドサービスをお客様に提供しているAWSは、190カ国のあらゆる業種のお客様のニーズに応じて、現在200以上のサービスを提供しています。デジタルトランスフォーメーションの実現における、さまざまなデータ活用における高度なセキュリティ機能、自動化、ガバナンスの確立、国ごとのデータ主権に関する対応、責任共有モデルなど、多様な視点から先進的なクラウド活用の最新動向を解説します。</p>
12:00~12:50	お昼休み
12:50~13:30	 <p>招待講演1 柴田翔平 KDDI株式会社 DX推進本部 ソフトウェア技術部 システムデザインG コアスタッフ 「KDDIにおけるクラウドジャーニーとCCoEの在り方」 KDDIでは、事業貢献に向けてさまざまなサービス/システムでパブリッククラウドを利活用しています。パブリッククラウドの利活用においては、セキュリティ対策やガバナンスへの準拠といった 障壁(ブロック)を乗り越えることだけではなく、その先にあるビジネスや業務の変革に向け、絶えず進化し続けるクラウドに追従できるよう、組織/プロセス/企業文化・風土、すなわち“カルチャー”を変革していくことが極めて重要です。本セッションでは、KDDIにおけるクラウドジャーニーと、それを障壁排除から社内のカルチャー変革までアプローチして リードしてきたCCoEの取り組みについてご紹介します。</p>
13:30~14:10	 <p>招待講演2 後藤 和貴 アイレット株式会社 執行役員/エバンジェリスト Sean Ferguson (ショーン ファーガソン) 同 Rackspace事業部 事業部長 「DX時代のビジネス課題を解決できるクラウド最適化へ。未来の動向を促進させるRackspace。」 米Rackspace Technology, Inc.は、日本ではKDDIグループのアイレット株式会社内Rackspace事業部として、DXへの対応に迫られる企業様を支援しております。 本講演では、アイレットとRackspaceのアンバサダーによるディスカッションを通じて、世界と国内におけるクラウドの最新情勢を踏まえ、クラウドの未来に向け私共がどのように企業様の課題解決に貢献できるか、具体的な事例も交えてご紹介いたします。</p>
14:10~14:50	 <p>招待講演3 古屋麻美 株式会社日本総合研究所 技術統括部 チーム長 「SMBCグループのクラウド活用におけるCCoEの役割とセキュリティ管理・統制」 SMBCグループでは、付加価値の高いサービスを迅速に提供すべく、クラウド・サービスと既存データセンター環境の双方のメリットを活用する「ベストミックスなハイブリッドクラウド活用」を戦略として掲げています。近年見かけることも増えたキーワード「CCoE(クラウド活用推進)」を担う、SMBCグループ内の中核システム会社である日本総研での活動・苦労点、クラウド利用におけるセキュリティ管理・統制事例を紹介します。</p>
14:50~15:00	休憩
15:00~15:40	 <p>対談: 河野省二 日本マイクロソフト株式会社 Chief Security Officer 吉井和明 弁護士・光雲法律事務所 共同代表・福岡県弁護士会 「ITとLEGALの視点からみたShared Responsibility」 クラウドサービス利用における利用者とプロバイダーの責任分界について、クラウドが利用され始めた2010年ごろから議論が収束することがありません。最近ではMis-Configuration(構成ミス)についての話題も同様の課題とされています。2011年に経済産業省発行された「クラウドサービス利用のための情報セキュリティマネジメントガイドライン」をベースに策定されたISO/IEC 27017とともに語られることになったShared Responsibilityについて、策定当時の背景とともに、ITの視点、法律の視点で整理しながら解説します。</p>
15:40~16:10	 <p>主催者講演 根塚昭憲 セキュリティソリューション技術者 CASB WG リーダー 「増え続けるSaaSに対するセキュリティの備え」 企業におけるSaaSの採用は増加し、重要なデータがSaaSに集まる中、SaaSのセキュリティやガバナンスを気にされているIT管理者の方は多いのではないのでしょうか？その道しるべとなる“SaaS Governance Best practice for Cloud Customers”がCSAのSaaS Governance WGより発行されました。本資料のエッセンスを解説します。</p>
16:10~16:50	 <p>パネルディスカッション; 高橋郁夫 CSA ジャパン 監事・弁護士、渥美俊英 CSA ジャパン 副会長、結城則尚 コンサルタント 「問題提起プレゼンテーション: 経済安全保障とメガクラウドの進化 ~日本のクラウドのあり方を問う」 日本政府のクラウドバイデフォルト調達の根幹をなすISMAP認定に加えて、この1年余りで極めて高度な技術要件が追加され、結果として米国メガクラウド4社だけが調達候補に絞られています。この背景には国産クラウドがIaaS中心で片やメガクラウドは100~200のIT全般の自動化サービスがあり、もはやその利用価値に天地の差がついているのが現状です。 これに対して経済安全保障の名の下に、国産クラウドを支援する動きが水面下で動きがあります。今回のCSAJサミットは「クラウドの進化と真価」をテーマにしましたが、そのまとめとして、日本のクラウドはどうあるべきか、ホットな話題をディスカッションします。</p>
16:50~17:00	閉会挨拶 寺尾敏康 日本クラウドセキュリティアライアンス 理事 企画会議議長 事務局次長